

教育相談部だより 第12号



教材・教具の紹介～手順表～

特別支援学校では、手順表を使った指導を多く行っています。本校で使用している手順表には、着替えや歯磨き、清掃の仕方等日常生活に関する手順表や作業工程等就労に関する手順表、授業の活動内容に関する手順表等があります。これらは、児童生徒が手順を理解し身に付けることや自分から行動を促すことを目的に、児童生徒の理解に応じて作成しています。

今回は、「手順表」について紹介します。

Q1「手順表」にはどのような種類がありますか？

A1「めくり式」や「一覧式」等があります。

- ・「めくり式」は、1枚に一つの手順を示しています。メリットとして、1枚1枚の写真(絵や文字)が大きくて見やすいことや1ページに1枚の写真(絵や文字)のみ掲載していることから、(今、取り組んでいる)手順が分かりやすいです。
- ・「一覧式」は、手順を一度に示しています。メリットとして、全体の手順が一目で分かることから見通しをもちやすいです。

Q2どちらの「手順表」を使用したらよいですか？

A2児童生徒の認知特性に合うものを使いましょう。

- ・「めくり式」は、例えば、目的地までの道順を一度に教えてもらうよりも一つ一つ聞きながら進んでいくように、必要な情報を一つずつ順番に、部分から全体へと理解する児童生徒に向いています。
- ・「一覧式」は、例えば、目的地までの進み方を決めるときに地図を見て全体を捉えてから歩くように、全体を把握した後で、細かい部分を関連付けて理解する児童生徒に向いています。

Q3認知特性とは何ですか？

A3 見て理解する方法が得意な児童生徒、聞いて理解する方法が得意な児童生徒、認知の仕方は人それぞれです。手順表等をはじめ教材・教具を作成する際には、児童生徒がどのように物事を理解しているか確かめることが大切です。児童生徒の理解に応じた教材・教具を作成することで、もっている力を伸ばしたり、高めたりすることが期待できます。また、一人一人性格が異なるように、認知特性もそれぞれです。今年度担当した児童生徒に使用した教材・教具が次年度担当する児童生徒に合うとは限らないので、毎年担当する児童生徒に合わせて教材・教具を見直します。

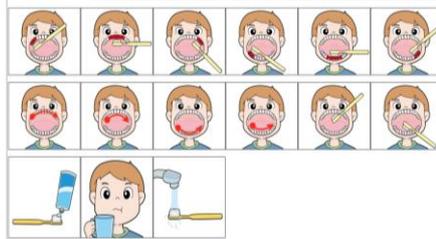
これまでは、印刷した手順を台紙に貼ったり、ラミネートしたりして作成していましたが、ICT教材が普及し、タブレット端末に手順を示した画像を取り入れ、手順を確認したり、手順の動画を見ながら必要な手順の場面で停止したりして学習に取り組んでいます。



～ 歯磨きの仕方の手順の例 ～



「めくり式の手順表」
本校で使用している手順表



「一覧式の手順表」
自閉症 (ASD) 支援グッズの企画・開発・販売
(株) 古林療育技術研究所より抜粋

Q どちらが、分かりやすいですか？

(1) 時計

アナログ時計

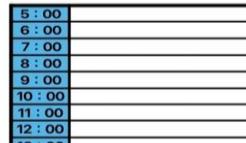
デジタル時計



(2) スケジュール 月間タイプ



時系列タイプ



自分の分かりやすさは、
なんだろう？

大人になると様々な経験から、TPOに合わせて認知スタイルを使い分けていると思いますが、このように物事の分かり方（認知の仕方）には得意（強い認知処理）・不得意（弱い認知処理）があります。「自分の分かりやすい方法で無意識のうちに他者（児童生徒）を自分の認知スタイルに合わせよう」としてないか振り返ってみることも大切です。

〈参考文献〉

- ・「継次処理」と「同時処理」学び方の2つのタイプ 認知処理スタイルを生かして得意な学び方を身につける 図書文化
- ・「知覚」とは？私たちの世界を感じる力を理解しよう！共起語・同意語も併せて解説！
〇〇とは？【とはログ】

〈教育相談のご案内〉

随時教育相談を受付けています。

相談方法：訪問・来校・電話で相談できます。
相談時間：9：00～17：00

- ※ 本校に在籍する保護者の方は、担任を通してお知らせ下さい。
- ※ 他校に在籍する保護者及び教職員の方は、管理職の先生から、教育相談部教頭にお電話下さい。

相談日については、日程や時間帯を調整させていただきます。
TEL：0765-54-1288 教育相談部担当教頭：中林（なかばやし）



詳細はホームページまたは
QRコードをご覧ください。

